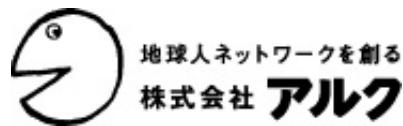


報道関係各位

2009年9月17日 新刊プレスリリース



地球人ネットワークを創る  
株式会社 アルク

「英語が話せるようになりたい。でも何から手を付けていいのか分からない」

- そんな方のためのシリーズ第3弾

## 『究極の英語スピーキング Vol.3』

2009年9月17日(木)発売

株式会社アルク(東京都杉並区永福 代表:平本 照磨)より、新刊『究極の英語スピーキング Vol.3[深まる3000語×中3レベル英文法]』のご案内を申し上げます。

### 言いたいことが言える3000語×中3英文法 = ペラペラ英語が話せる自分

「あの会社は で知られています」

「いつから××を担当していますか」

「自己紹介をさせてください」

ビジネスシーンや普段の生活で、頻繁に出てくるこれらの表現。英語ではどう言うのでしょうか?

これらは、中学3年のときに習う構文を身に付けていれば、ごく簡単な英単語を使って表せる文ばかりです。しかし英語となると、日本語を話すようにには口から出てこないのが実情ではないでしょうか?

『究極の英語スピーキング Vol.3[深まる3000語×中3レベル英文法]』では、こういった「習ったはずなのに、なかなか使えない」というような**中学3年で習う英文法**と、SVL<sup>(\*)1</sup>の LEVEL 1~3、つまり**初・中級レベルの3000語**だけを使って<sup>(\*)2</sup>、言いたいことを言えるようになる練習をします。

本書で取り上げる単語は、日常生活でも頻出のものばかり。文法項目も、英語を勉強したことのある方なら、どこかで目にしたことがあるはずです。それらが口から出てこないのは、圧倒的に練習が足りていないことが原因なのです。

そこで本書では、中学3年で習う英文法を16項目、さらに復習として中学1年~2年で習うものも6項目取り上げ、約300の例文を使って、**考え込まずに英文が口から出てくる**ようになるまで繰り返し練習します。

そして、「究極の英語スピーキング」シリーズの最大の特徴は、**日本語から英語を発想すること**。そもそも、相手に伝えたい内容がなければ、英会話は成り立ちません。本はもちろん、CDにも日本語を収録して、それを「英語でどう言うのか」を考える仕組みにしました。

簡単な構文でも、相手に伝えられることはたくさんあります。本書の練習を通じて、英語を話すための基礎体力を身に付けていただくことができます。

1 SVL: Standard Vocabulary List の略。アルクが編集した「標準語彙水準12000」のこと。  
日本人英語学習者にとって有用な英単語を全12段階にレベル分けした語彙リストです。

2 固有名詞は除く。

見本書のご請求、本リリースへのお問合せは下記までご連絡ください。

株式会社アルク 広報部 (担当:河合)

電話:03-3323-3521 FAX:03-3327-3971 e-mail: menet@alc.co.jp